

2015 年度 九州大学 前期 英語

(1)

出題範囲	長文読解
難易度	★★★★☆
所要時間	30分
傾向と対策	今回のテーマはナイチンゲールであったため、彼女についての予備知識がわずかでもあれば少しは内容理解に役立ったのではなかろうか。特に問2は当時のイギリスの看護師の状況についての予備知識があれば判断がやりやすかっただろう。だが、それでも難しい単語やわかりにくい構文も多く、それぞれしっかりと読み解いていかなければ途中で変に読み違えて、そこから点数を落としてしまう、という事態にもなりかねないので注意したい。このレベルの語彙になると、受験期にすべてを網羅することは非常に厳しくなってくるので、語彙力を高めつつも文脈から読み取る力のほうも高めてもらいたい。

本文訳

証拠にもとづいた手法が医学における支配者層に対し、医学の真価が問われた際に現れる結果をいかにして受け入れさせるかを、とてもよく示している医学の歴史上の逸話がある。フローレンス＝ナイチンゲールは、今日ではよく知られた人物だが、生前はほとんど評価されていない女性だった。しかし、⁽¹⁾それでも彼女は堅実で、疑う余地のないデータで武装することによって、男性が支配していた医学界の支配者層との激しい論争になんとか勝った。実際、彼女は証拠にもとづいた医学の初期の提唱者の1人としてみなされうようになり、ヴィクトリア女王の時代の人々の健康管理を変えるためにそれをうまく使った。

フローレンスと彼女の姉妹は、彼女らの両親のウィリアム＝ナイチンゲールとフランセ＝ナイチンゲールの新婚旅行の間に生まれた。旅行先はイタリアで、その旅行は長く、とても生産的な2年間であった。フローレンスの姉は1819年に生まれ、生まれた土地の名前、パルテノペ、ナポリのギリシア名、にちなんで名づけられた。その後フローレンスは1820年の春に生まれ、彼女もまた生まれた土地の名前にちなんで名づけられた。フローレンス＝ナイチンゲールは特権階級のイギリスのヴィクトリア朝の女性としての人生を送るであろうと予想されていたが、10代のとき、彼女は彼女を導く神の声が聞こえると常に主張していた。それゆえ、彼女の看護師になりたいという欲求は「神の要望」の結果のように思える。このことは彼女の両親を悩ませた。なぜなら看護師は当時一般的にあまり教養がなく、品がなくてよく酔っぱらっているものと一般的にみなされていたからだが、これらこそまさにフローレンスが壊そうと決意した偏見であった。

⁽²⁾イギリスでフローレンスが看護をすることへの見込みはすでに十分に衝撃的であったため、クリミア戦争の野戦病院で働くという彼女のその次の決断は彼女の両親を二重におそれさせたことだろう。フローレンスは『タイムズ』のような新聞で、コレラやマラリアで大多数の兵士が亡くなっていたことを強調する外聞の悪い記

事を読んだのだった。彼女は従軍を志願し、1854年の11月までには汚い病棟と、汚れたベッドと、閉じた下水道と、腐った食事で悪名高いトルコのスクタリ病院を取り仕切っていた。死のおもな要因は兵士たちを苦しめていた傷ではなく、そのような不潔な状況下で広まった病気のせいだということが彼女にはすぐにはっきりわかった。ある職員の報告が認めているように、「風が下水道を吹き抜けて、多くの外のトイレのパイプから廊下や病人が横たわっている病棟の中に吹き込んできたのだ。」

ナイチンゲールはきちんとした食事ときれいなリネンを提供し、排水管を掃除し、新鮮な空気を入れるために窓を開けることによって病院の改革に着手した。たった1週間で彼女は215台の手押し車分の汚物を除去し、下水道を19回も洗い流し、病院の庭で見つかった2頭の馬と、1頭の牛と4匹の犬の死体を埋めた。⁽³⁾機関を前々から運営していた将校や医師たちは、これらの変化は彼らのプロ意識に対する侮辱だと感じて、彼女のすべての行動に対して反対したが、彼女は構わず押し進めた。⁽⁴⁾その結果は彼女の方法の正しさを立証するかのようだった。1855年2月、入院していたすべての兵士の死亡率は43%であったが、彼女の改革以後、1855年の6月には死亡率は2%にまで劇的に減少した。彼女が1856年の夏にイギリスに戻ったとき、ナイチンゲールは英雄として歓迎された。

解説

(1)

解答例

彼女は堅実で、疑う余地のないデータで武装することによって、男性が支配していた医学界の支配者層との激しい論争になんとか勝った。

まず、この文を大まかに分けていくと次の3つに分かれる。1つ目はこの文の主となる she から argument まで。2つ目は argument の相手を示す against から establishment まで。そして最後が勝利した方法を示す by 以下である。これを順に和訳していくと最初が「彼女はそれでも何とか厳しい論争に勝利した」で、2つ目が「男性が支配した医学界に対して」であり、3つ目が「堅実で疑う余地のないデータで武装することによって」である。

この1つひとつは文章構造も複雑ではないが、1つ目の manage to V 「なんとか V する」の訳には注意してほしい。また、bitter, establishment, arm はどれも普段よく目にする意味とは違う意味で用いられているので、そこを早とちりしてしまわないように注意してほしい。

(2)

解答例

当時のイギリスでは、看護師は下品で教養がなく、しょっちゅう酔っぱらっていて、特権階級の女性になるような職業ではないと考えられていたから。

まず下線部(2)を和訳すると「イギリスでフローレンスが看護をすることへの見込みはすでに十分に衝撃的であったため」となる。

ではそもそもなぜ看護師になることがそこまで衝撃的なのだろうか。ここで注目してほしいのが第 2 段落の第 4 文である。ここで、フローレンス＝ナイチンゲールはヴィクトリア朝の特権階級の女性としての人生を送ると思われていたが、神の声による導きによって変わったという内容が書かれている。最終的に彼女は看護師になったわけであるから、つまり、もともと看護師は教養のある女性が就くような職業ではなかったと考えることができる。

では看護師は当時一般にどのようにみられていたのかというと、第 2 段落第 6 文、because 以下に書いてある。Poorly educated であり、indecent で often drunk であると考えられていたのだ。あとはここを訳して、これまで考えてきたことをまとめれば解答ができあがる。

(3)

解答例

機関を前々から運営していた将校や医師たちは、これらの変化は彼らのプロ意識に対する侮辱だと感じて、彼女のすべての行動に対して反対したが、彼女は構わず押し進めた。

まずこの文を和訳していくうえで大切なのは文章構造をしっかりとるということだ。さまざまな関係詞や接続詞などが入り混じってとてもわかりにくく見えるこの文章だが、まずは修飾部分となる関係詞や副詞、接続詞などはすべて取り払って主語と述語だけの文章にしてみよう。すると The officers and doctors felt となり、すごく簡単な文章になる。

では関係代名詞 who の節を見てみると who had previously run the institution である。次に見るべき節は felt の内容を表す that 節だ。これが but の前まで続くが、この中でさらに文章になっているのでさらに細かく見ていこう。この中で注意すべきは、and が何と何をつないでいるかだ。まず and のあとにどんな形のものが来ているかに注目する。今回は動詞の過去形、または過去分詞形が来ているため同じ形のを and の前から探すと felt と were がある。どちらが and で並列されているのかは主語で考えよう。今回問題となっている動詞は fought her every step である。ここでの her とはフローレンスのことにほかならないから、彼女と対比されるものが fought の主語となるのである。そう考えると主語は The officers and doctors であるとわかる。つまり、ここでは felt と fought が並列されていたのである。最後に残ったのは but 以下であるが、but の前にコンマがあることから、ここから新しい主語が来るのではないかと考えることができる。内容を見ると、「彼女はかまわず押し進めた」とあることから、将校や医師の反対をものともせずフローレンスが改革を押し進めたとなって内容としても整合性がとれる。

この文の最後には regardless が単独で使われており、少なからず混乱した受験生も多かったかもしれないが、regardless は 1 語で「かまわず」などといった意味になるので覚えておいてもらいたい。

(4)

解答例

1855 年の 2 月には 43% もあった兵士の死亡率が同年の 6 月には 2% に激減したという結果によって、フローレンスの押し進めた、病院の衛生状態を改善するという方法の正しさが証明されたかのようだった。

この問題で求められていることはおもに 3 つ、the results の内容を示すことと her methods の内容を示すこと、そして上 2 つを踏まえて下線部(4)を和訳することである。

まず下線部(4)を直訳してみると「その結果は彼女の方法を立証するかのようだった。」となる。それでは「その結果」と「彼女の方法」の内容を明らかにすればよいとわかる。そして、下線部(4)にはダブルコロンがついているため、直後の文が言い換えになっているとわかる。そこを見ていくと、1855 年の 2 月には 43% あった兵士の死亡率が彼女の改革後の 1855 年 6 月には 2% にまで下がっていると書かれている。

この内容で、「その結果」とそれを立証するかのような「彼女の理論」とは何か考えればよい。まず「その結果」が何かは 43% あった兵士の死亡率が 4 カ月で 2% にまで下がったことでまず間違いないだろう。ではこの「結果」によって立証される「理論」は、この原因となったものと考えていだろうから、「彼女の方法」とは彼女が行った改革、つまりはフローレンスによる病院の衛生状態の改善であるとわかる。あとはこれらを文章にすると解答ができあがるのである。

表現

reputation 「評判, 名声」

male-dominated 「男性が支配した, 男性優位な」

solid 「堅実な」

advocate 「提唱者」

name A after B 「B にちなんで A に名づける」

privileged 「特権のある」

hence 「それゆえ」

distress 「苦しめる, 悩ませる」

indecent 「品のない」

drunk 「酔っぱらった」

prejudice 「偏見」

subsequent 「連続した」

the Crimean War 「クリミア戦争」

The Times 「タイムズ」: 1785 年創刊の英国の新聞

notorious 「悪名高い」

filthy 「汚い, 不潔な」

sewer 「下水道」

rotten 「腐った, ひどい悪臭を放つ」

wound 「傷」

drain 「排水させる」

carcass 「死体」

push ahead 「押し進める」

validate 「検証する」

admit 「入院させる」

(吉田涼佑, 北本孟)

2015年度 九州大学 前期 英語

〔2〕

出題範囲	長文読解
難易度	★★★☆☆
所要時間	25分
傾向と対策	今回の英文は脳科学に関するものであったため、読みにくく感じた人も一定数存在したであろう。だが、このような科学的な文章の場合、多くは冒頭に結論やそれに近いことが書いてあるため、そこをきちんと読み取ったうえで解答の軸とすれば答えが大きく外れることはないはずだ。今回の問題の(2)は100字で論述させる問題のため、少しやりづらかったかもしれないが頑張ってみてほしい。解答のポイントさえおさえればある程度の点数はとれるので、わからなかったとしても読み取れたところまでをまとめて書くと点数になるかもしれないからだ。

本文訳

生物学的に、人は怒りがある段階に達したとき、心拍数、血圧、テストステロンのレベルがすべて上昇する。それは、怒りが我々を取り乱させ、我々に害をなすということを示唆している。しかし実際は、ストレスホルモンであるコルチゾールの濃度は減少しており、怒りは、人が落ち着き、逃避せずに問題に取り組む準備をするのを助けるということを示している。ハーバード大学の心理学者、ジェニファー＝ラーナーは、ボランティアの被験者に憤りを誘発する研究を同僚と行い、コルチゾールが心臓の反応性に及ぼす効果を怒りが減少させるということを発見した。

(1) 怒りは長い間完全に悪い感情だと考えられてきたが、最近の神経科学はその考え方を一新した。 科学者たちは、すべての振る舞いに2つの基本的な動機づけの力が存在する、つまりは接近衝動、すなわち求めているもの方向に動こうとする欲求と、離脱衝動、すなわち不愉快なものから立ち去ろうとする欲求が存在すると知っている。脳に物理的に組み込まれたこれらの振る舞いは、感情をつかさどる部門のようにはたらく、前頭葉皮質によって支配されている。脳の画像化・脳の電気的研究は一貫して以下のことを示す。すなわち、左前頭葉は、接近行動の確立に重要であり、その確立は、求められる目標や報酬を、合理的、論理的、計画的かつ秩序だったやり方で我々に追求させるということ、そして、右前頭皮質の活性化は、より消極的で、抑制、臆病、罰や脅威の回避によって特徴づけられる、離脱を促すシステムに結びついている、ということである。

脳のスキャン画像は、怒りが、積極的な接近行動に関係した左の前頭葉皮質を特に活性化させることを示した。怒りはさらに、まったくもって有益なもの、喜ばしいものでさえあると思われる。研究においては、怒った被験者たちが自分らももっと物事をよくできると知覚したとき、怒りが左脳の顕著な活性化をもたらした。

「怒りを呼び起こすような出来事を解決するために行動できると期待することによって、より大きな接近行動

の動機づけ強度が得られるに違いない」そう強く主張するのはマイアミ大学の社会心理学者チャールズ＝カーターとニューサウスウェールズ大学のエッジ＝ハーモン＝ジョーンズであり、この 2 人は長い間怒りの研究において協力している。さまざまな研究で、ハーモン＝ジョーンズは、怒りの傾向を計測する尺度において高得点を得た被験者は前頭葉皮質において特徴的な非対称性を示すこと、つまり彼らはより高い水準の左前頭葉の脳波の活動とより低いレベルの右前頭葉の活動を示すことを発見した。無差別に被験者を侮辱することによって、彼らを口頭でのコミュニケーションで公平に扱うことに比較して、比較的左前方の活動がより活発になるのだ。

怒りについての発見に刺激されて、神経科学者はいかなる感情についてもそれが肯定的か否定的かというふう
に考えることを放棄し始めて、その代わりに感情を「動機づけの方向」で、つまり感情が接近行動を刺激するか、
回避/離脱行動を刺激するかということで特徴づけることをより好むようになった。⁽²⁾この枠組みの中から見ると、
彼らは、怒りが幸福を生み出すことはおかしいことではないと説明する。ニュース＝ヘッレー口によって率い
られるスペイン人の科学者チームが報告するには、「怒りの場合は、否定的な物として考えられたり経験されたり
しているにもかかわらず、左脳の活動の増加についての発見にもとづくそれは近づくことや接近の動機を生
み出すため、違うのだ」。⁽³⁾言い換えると、我々は怒るとき、「我々を怒らせたものに近づいて排除しようとする
という自然な傾向を示す」のだ。

解説

(1) 正解は indignation

この問題は indignation の意味を知っていれば簡単に解けるのだが、そのような受験生はほぼいないだろう。ではどのように思考すればよかったのだろうか。これは単語の知識を問う問題ではないだろうから、近くに言い換えの部分があるはずである。そうすると第 1 段落の最終文にジェニファー＝ラーナー博士の研究について述べられている部分に気がつくだろう。ここでは最初の研究内容について述べてある節では anger という単語が登場していないにもかかわらず、主節では彼女たちの anger に関する研究結果が述べられている。つまり最初の節の中にも anger の意味を表す単語が存在しているのではないかと考えることができるから、この中を探せばよい。そうするとボランティアの被験者に indignation を起こしたとあるから、被験者に起こさせて彼女らが研究するものといったら、怒りしかないだろう。よって答えは indignation なのである。なお、indignation の意味は「憤り」である。

(2)

解答例

左脳は肯定的な目標への接近を推進するよう働き、右脳は否定的な対象からの逃避を促すように働くが、怒りは左脳の働きを促進し、怒りの原因を取り除けるとなるとさらに活発化することがわかったから。(100 字)

この問題の解答のポイントは大きく分けて 2 つある。左脳と右脳の働きの違いを書くことと、下線部(1)の理

由を説明することの 2 つだ。

ではまず左脳と右脳の働きの違いからだ。これは第 2 段落最終文を見てほしい。左の前頭葉と右の前頭葉の働きについて書いてある。だが、ここに書いてあることをそのまま書いても文字数を浪費してしまうだけである。問題文を見てみると、書かなければならないのは左脳と右脳の機能の違いであるとわかるから、その対比をすればよいのだ。その視点で英文を見てみると大まかにいって左脳には接近衝動が、右脳には退避衝動があると書いてあることがわかるだろう。

続いて下線部(1)の理由を考えていこう。まず、下線部(1)の訳からだ。これは和訳問題ではないため、ある程度の大まかな内容を捉えることができればよい。そうするとこれからは「怒り」が与えるよい影響について探せばよいとわかる。その中でも問題文から特に左脳や右脳に与える影響を探せばよい。少し飛ぶのだが、第 3 段落目の冒頭部分に怒りが左脳を活性化させるとある。つまり今回書かなければならなかったのは、この「怒りによって左脳が活性化される」という箇所だったのだ。さらにもう 1 カ所、第 4 段落目の冒頭の「怒りを呼び起こすような出来事を解決するために行動できると期待することによって、より大きな接近行動の動機づけ強度が得られるに違いない」も注目しなければならない。つまり怒りの原因を解決できると見込まれるときは、左脳はさらに強く活性化されるのだ。あとはこれらを端的にいい直してまとめると完成するのだ。

(3)

解答例

接近行動を刺激するか、回避・離脱行動を刺激するかという、「動機づけの方向」で感情を特徴づける枠組み。

まず下線部(2)に this という単語が含まれていることから答えは直前にあることがわかる。そこには怒りに関する新たな発見によって、これまでの、感情を肯定的なものか、否定的なものかで分ける考え方から、感情を物事に対して積極的にはたらくか、物事から逃避するように働くかで分ける考え方が主流になってきたことがわかる。つまり考え方の枠組みが変化したのである。

それでは、下線部(2)を含む全文を見てどちらの考え方の枠組みがふさわしいか考えてみよう。すると、怒りが幸せを生むということが不自然ではないということが書いてある。この考えの基礎となるのが下線部(2)なのであるから、答えとなるのは感情を物事に対して積極的に働くか、消極的に働くかという「動機づけの方向」で区別する枠組みである。あとは問題文が「どのような枠組みか」と聞いている以上、答えは最後「という枠組み」で終わらせるようにしよう。

(4)

解答例

言い換えると、我々は怒るとき、「我々を怒らせたものに近づいて排除しようとするという自然な傾向を示す」のだ。

まず, in other words が挿入されているので文の前に出して訳そう。そうすると, 接続詞 when を含む一般的な文であることがわかる。

では節ごとに見ていこう。まず when 節だが, 怒るという意味の熟語 get mad が含まれるくらいで難しい部分はないだろう。では次の節はどうか。to が 1 文中に 4 回も出てきて非常に読みにくい。こういうときは前から順に熟語や節で分けていくと見やすくなる。まず 1 つ目の to だがこれは tendency の内容を示すための to であり get が続いていることから不定詞節を導く to であることがわかる。次に 2 つ目の to だが get closer to で 1 つの熟語になっており, to で示す名詞節に近づくという意味がある。その近づく先が関係詞 what で示された名詞節で, その次の to は名詞節に近づく目的を表すための to である。そうして最後の to は try to do の to である。ここに留意すればあとは難しい単語や構文もないため, それほど大変ではないだろう。

表現

arouse 「起こす」
heart rate 「心拍数」
testosterone 「テストステロ」：男性ホルモンの一種
cortisol 「コルチゾール」：ホルモンの一種
induce A 「A を引き起こす」
indignation 「憤り」
diminish 「減らす」
neuroscience 「神経科学」
hardwired 「(機能が) 物理的に埋め込まれた」
cortex 「皮質」
executive 「実行力のある」
branch 「枝, 支流, 部門」
imaging 「画像化」
frontal lobe 「(大脳の) 前頭葉」
inhibition 「抑圧」
timidity 「臆病」
anterior 「前の, 前方の」
utterly 「まったく, 全然」
predominant 「優勢な, 卓越した」
motivational 「動機づけの」
intensity 「強烈, 激しさ」
collaborator 「協力者」
EEG 「脳波」：Electroencephalogram の略
stimulate 「刺激する」
get mad 「頭にくる, 怒る」

(吉田涼佑, 小林雅典)

2015 年度 九州大学 前期 英語

(3)

出題範囲	長文読解
難易度	★★★☆☆
所要時間	20分
傾向と対策	全体的に標準的な難易度の文章であったが、油断すると落としてしまうようなポイントもいくつかあったので気を抜かずに取り組みたい。

本文訳

存在しない動物を像として表現するために、我々の祖先は岩壁に絵を描き始めた。彼らは過去に起こったできごとや将来起こりうるできごとを描いた。(ア) 先を読む能力を開拓したものは、脳のはたらき方を変えた。身の周りの世界に対して反応すると同時に、これらの変化した生物は (イ) 「もしこうだったら？」という事態に対処し、夢を見て、計画して、予想できた。彼らは意識をもつようになったのだ。

アフリカの野生公園を舞台にしたドキュメンタリー番組を見てみると、レイヨウの群れのような餌になる動物が捕食者の存在に対して示す反応は、人間の観点から見ると信じられないほどおかしなもののように思える。(ロ) もしメスライオンが餌となる動物の群れの隅に横たわって、群れをじっと見つめて、獲物を狙い定めていても、犠牲になりうる動物たちは、不安気ではあったとしても、この恐ろしい捕食者をただしばらく観察するだけで、すぐにレイヨウたちはまた草を食べ始めるだろう。我々人間ならばきっとこう考えるだろう。「私は問題を見つけてしまった。あのメスライオンは私を傷つけうるし、私を殺しさえするだろう。念のため、隠れながら逃げようと思う。もしくは、少なくとも、より太っていて動きの遅いレイヨウが私とメスライオンの間にいるようにしておこう。」しかし、未来について見通し、(ウ) 潜在的な状況に気がつき、それに伴う結果を分析するこの能力は、レイヨウには備わっていないものである。攻撃が始まったときに初めて逃走しようという反応が起こるのだ。

(エ) 現状がどうであるかばかりでなく、今後どうなりうるかをも考える能力によって、生き残るうえで明らかな利益を得る。それによって人間は、危険を評価し、目前の危機にただ反応するというよりむしろ (オ) 何が起こるだろうかということにもとづいた決定を下すことができるようになった。先を読む能力は我々に文学と宗教、科学と文明をもたらした。しかし、きっとこの変化による最大の利益は、我々自身が将来変われると認識することだろう。(カ) どうなりうるかを熟考する能力のおかげで、我々の祖先は「私はいまの私から変わりたい」と考えることができ、(キ) 人類の形態をよりよいものにしたいという衝動が強くなった。

(ク) その結果は生物学的に独特なものであった。人類は何か新しいものへと自分自身を変化させ始めたのだが、それは自然淘汰による極めて遅い手順ではなく、我々自身の介入によってであった。つまり我々の向上したいと

いう思いは私たちが絶えず進化させてきたのだ。

解説

(1) 正解は オ

まず下線部(1)の意味をとってみよう。ここで重要になるのは What if? の部分だ。ここで聞かれているのは現実に起こったことではなく、これから起こりそうなことを予測して行動できる能力のことである。

それでは、この観点でそれぞれの選択肢を見ていこう。まず下線部(ア)であるが、「いまを越えて見る」とある。これでは抽象的で何をいつているかわかりにくい。「いまを越えて見る」とは、いまより向こうの時間軸を見るということであるから、将来を予測して動くということになり、趣旨が合致する。では(イ)を見てみよう。「潜在的な状況に気づき、結果を分析する」とある。一見、結果とあるため趣旨に合致しないように思えるが、何の結果なのか考えて欲しい。そうすると、現在の状況から将来の予測を行い、その結果を分析する、という意味であることがわかるので、これも趣旨に合致している。また、下線部(イ)直前の project into the future の言い換えであることから趣旨に合致するとわかる。次に(ウ)だ。「何が起こりうるかをもとに決定する」とある。これは単純で、「何が起こりうるか」というのは未来の事象を判断しているということであるから、これは趣旨に合致していると判断できる。では(エ)はどうか。「何になりうるか熟考する」とある。これも、「何になりうるか」考えているのはまだ何にもなっていない状態でのことなので、未来のことを考えているのだから趣旨に当てはまる。では最後、(オ)はどうだろうか。「人類の形態を改善する」とあるが、これだけでは判断しづらい。そこでそれ以前の文を読んでみると人類が進化できた理由について書いてあることがわかり、改善された最終状態は現在の人類のことを指しているとわかる。こう考えると(オ)は何かを予測して述べている文ではないことがわかり、(オ)が答えとなる。

(2)

解答例

メスライオンがレイヨウの群れの角に横たわって獲物を熱心に見定めていても、レイヨウたちはその恐ろしい捕食者を不安げに^{いちべつ}一瞥^{いちべつ}しただけで再び草を食べ始めるということ。

この問題は下線部(2)が表している状況を日本語で簡潔に述べるのが求められているので、第1に下線部(2)を和訳すると「もしメスライオンが餌となる動物の群れの隅に横たわって、群れをじっと見つめて、獲物を狙い定めていても、犠牲になりうる動物たちは、不安気ではあったとしても、この恐ろしい捕食者をただしばらく観察するだけで、すぐにレイヨウたちはまた草を食べ始めるだろう。」となる。

この文章を和訳するうえでまず文章を2つに分けてみていこう。前半を最初の if 節が切れる target まで、残りを後半とする。前半部分で注意すべきポイントは、3つ続いている現在分詞句だ。これらはすべて lioness の状態を表していて、現在進行形の形をとっている。後半部分の注意すべきポイントとしては、1つ目に後半の途中に入ってくる if 節がある。この if 節だが、節中には副詞しかないので、ほかの部分はすべて省略されている

ということがわかる。ではなぜ省略されているのかというと、同じことが直前までにすでにいわれてしまっているからである。この if 節を完全な形で書くと if this fearsome predator is likely only to be eyed nervously となる。つまり if の直前にある briefly と並列させて書いてあるのだ。なぜ if がついているのかというと、レイヨウたちは近くにいるライオンを見ても何のリアクションも取らないのだから、不安になっているかどうかは一概にはいえないからである。次に注意すべきポイントは before 節だ。この before 節は、直訳すると「レイヨウは草を食べに戻る前に」となる。しかし、レイヨウの行動を基準にしてこの文章に書いてあることを時系列に沿って並べてみると、メスライオンがレイヨウに一瞥される→レイヨウは草を再び食べ始めるという順に行動しているので、「草を食べに戻る前に」とするのはではなく、「～してその後、再び草を食べる」としたほうがわかりやすい。

そして、和訳ができたあとはそこから不要な部分を省いていき、文末を解答にふさわしい「～という状況」や「～ということ」でまとめると解答が完成する。

(3) 正解は B

選択肢訳

- A ～に共有されている
- B ～に備わっていない
- C ～に固有である
- D ～が備わっていない

まず空欄(3)を含む 1 文全体を見てみよう。文法的に分解していくと this ability が主語で、続く to project ～ と to be aware of ～ はすべて主語を修飾する不定詞句の形容詞的用法であり、そのまま空欄(3)につながっているとわかる。つまりこの文を極端に単純化して書いてしまうと This ability (3) the gazelle.となるので、空欄(3)には This ability と the gazelle の関係を示すようなものが入るはずである。

次に、this ability の意味内容であるが、これは 2 つの to から始まる不定詞句の形容詞的用法で書かれている。ではこれを和訳して、いったいどんな ability なのか見ていこう。まとめると「将来を見通し、起こりうる可能性について考えをめぐらして状況を判断する」能力のことである。ここで選択肢を見てみると、大まかにいってこの能力がレイヨウにあるかないかという話をしているということがわかる。では実際にはどうだろうか。特に下線部(2)の部分で見たが、そのような能力をレイヨウはもっていないからこそ下線部(2)のような事態が起きているわけである。この時点で選択肢 A,C は除外される。そして選択肢 B と D だが、この 2 つは非常に似ていて混乱しかねないため、少し丁寧に見ていく。

まず B は A isn't present in B で「A は B に備わっていない」である。そして D だが、A isn't equipped with B で「A に B が備わっていない」となる。つまり、D の選択肢を選んでしまうと「This ability に the gazelle が備わっていない」となり意味が通らなくなる。よって答えは B となる。

(4)

解答例

現状どうであるかばかりでなく、今後どうなりうるかを考えることができることも生き残るうえで明らかな利益となる。

それでは和訳していこう。まず There is / are 構文が使われていることには気づいてほしい。次に benefit from は「～による利益」であり、何によって利益を得ることができるのかということ consider することである。そして consider に続く 2 つの what 節が接続詞 as well as でつながっている。as well as の訳し方は、A as well as B で「B だけでなく A も～」であることには注意しなければならない。残りは what 節の中身だけであるが、might は未来を表す用法があるので、A 部分の what 節は未来を、対して B 部分の what 節中には be 動詞の現在形があるので現在を表しているとわかるから、未来と現在の対比構造があるとわかる。ちなみに、What is のように what + be 動詞だけだと「どのような状態であるか」という意味になるので覚えておくとよいだろう。

(5)

解答例

人類が向上心により、耐えがたいほどゆっくりな自然淘汰によってではなく、自身の介入によって自分自身を継続的に新たなものに変えようとし始めたこと。

下線部(5)で述べられている「結果」だが、その前にまずそれに至るまでの過程を考えておこう。前段落を読んでみると人類は現在行われていることだけでなく、将来的に起こるであろうことも考えて行動することができる」と述べられている。さらに最終文に、「どうなりうるか熟考できる能力のおかげで、我々の祖先は『私はいまの私から変わりたい』と考えることができ、人類の形態をよりよいものにしたいという衝動が強くなった。」とあることから、第 3 段落目までが求められている「結果」に至るまでの「過程」であるとわかる。となると「結果」は最終段落にくる。

では最終段落の下線部(5)のあとの 1 文を見ていこう。まず前半だが、turn A into B で「A を B にする」という意味になり、前半の意味としては「人類は自分自身を新たなものに変え始めた」となる。次に後半の、our desire to の前まで見ていこう。ここでは少しわかりにくいかもしれないが not A but B 構文が使われている。つまり、A (に当てはまる方法) によってではなく、B (に当てはまる方法) によって、人類は自身を新たなものに変え始めたのである。では A と B を見ていこう。A は through から selection までが当てはまり、「耐えがたいほどゆっくりとした自然淘汰によって」という意味になる。B は by our own intervention つまり「私たち自身の介入によって」という意味になる。

それでは最後に、our desire to 以下を見ていこう。drive A to V で「A が V するよう駆り立てる」などという意味になるから、ここの内容としては「私たちの向上心が私たちを継続的に良いものにするよう駆り立てる」となる。つまり、「人類はいまでは、自身の進化を自然淘汰に任せるのではなく自分自身の手で行わなければ気が

すまなくなってしまった」となる。これは人類特有の未来を予測して行動することができるという能力によるものなので biologically unique な結果といえるだろう。あとは解答にふさわしいように言い換えていくだけでよい。

表現

ancestor 「祖先」

scrawl A 「A を殴り書きする」

herd 「群衆, 群れ」

fearsome 「恐るべき」

briefly 「簡単に, 手短かに」

crop 「群生地」

commence 「開始する, 始める」

assess 「評価する, 査定する」

solely 「たった 1 人で」

ponder 「熟考する」

predecessor 「前任者」

kickstart 「始動を促進する」

urge 「衝動」

(吉田涼佑, 大西功泰)

2015 年度 九州大学 前期 英語

〔4〕

出題範囲	自由英作文
難易度	★★★☆☆
所要時間	25分
傾向と対策	自由英作文としては標準的な難易度であったように思う。指示文として与えられている文章もそれほど難しくはないのでしっかりと読んで取り組んでほしい。

問題文訳

絵文字 一顔の表情や心中の感情を絵で表すもの— はいまや我々の日常的な会話において不可欠なものである。当初は、それらは日本国内だけでしか使用できないものであったが、多くの「絵文字」がユニコードに組み込まれていき、そうして世界中の PC や携帯電話の使用者もこれらの記号を利用できるようになり、多くの人々がそれらを彼らの瞬時の文章での会話につけ加えることを楽しむようになった。これらの文字は、身振りによる言語や声のトーンが大抵存在しない、電子での意思疎通を容易にするのにとっても役立っていると主張する人もいる。一方で、それらは、言葉で何というか苦心して作り上げずとも我々が互いに意思疎通することができるので、私たちの言語の言い回しの能力をだめにすると指摘する人もいる。この問題についてあなたの意見を 100～120 語の英語で述べなさい。

解答例

(例 1) I think emoji characters are now essential for our daily life. In the text communication, there is no other information but text. So, emoji characters are very effective way of adding emotional information which is hard to include in our text message. For example, if we want to say, “You’re fool” in joke, emoji characters are very useful to tell him that is joke. Telling true emotion in text message is very difficult and the gap between what we want to say and the way in which readers accept it can cause of a big trouble. After all, at the sight of avoiding big trouble, emoji characters are also very useful tool. (112 words)

訳：絵文字は私たちの日常生活においていまや必要不可欠なものであると思う。文章による意思伝達において、文章以外での情報はない。そこで絵文字は文章に含むことのできない感情の情報をつけ加えることにとっても有効な方法である。例えば、冗談で「お前は馬鹿だ」といいたいときに、それが冗談だと相手に伝えるために絵文字はとても有効である。文章で正しい感情を伝えることはとても難しく、いいことと読んだ人がどう受け取るかの違いは大きなトラブルの原因となりうる。つまり、大きなトラ

ブルを避けるという観点からも、絵文字はとても有効な手段なのだ。

(例 2) I think emoji characters are harmful for our vocabulary because we can express our emotion without thinking deeply. I think ours is easily lost if we don't use it, and expressing our emotion in only text is one chance to use our full vocabulary. There are so many words to express your emotion in your vocabulary. If you always depend on emoji characters, you may have a trouble when you can't use them. For example, if you talk with your boss in text message, you can't use them. But if you have lost your vocabulary, you can't express your emotion. So, training not to use emoji characters daily is also very useful. (117 words)

訳：深く考えずとも感情を表せてしまうので、絵文字は私たちの語彙に悪影響を与えらると思う。もし使わなければ私たちの語彙は簡単に失われてしまうし、文章だけで私たちの感情を表現することは私たちの語彙のすべてを使う 1 つの機会だと思う。あなたの言語にはあなたの感情を表すためのとても多くの言葉が存在している。絵文字に完全に頼り切っていると、絵文字が使えないときにあなたはきっと困るだろう。もし上司と文章で話すならば、あなたは絵文字を使えないだろう。しかしもし語彙力がなかったら、あなたの感情を表すことはできない。だから、練習のためにも日常的に絵文字を使わないことはとても有効なのだ。

解説

この問題は絵文字の功罪についての文章を読ませた上で意見を記述させるという形式であったため、解答の最初に絵文字の使用について賛成か反対かの立場を明示するとやりやすいだろう。もちろん中立の立場で記述してもよいのだが、最大でも 120 字という文字数の中でどちらについても十分に述べることは難しいことからあまりお勧めはできない。ここでは(例 1)で賛成の立場に立った記述を、(例 2)では反対の立場に立った記述を行っている。気をつけるべきポイントとして、問題文中で述べられている考えに対して少しでも触れるべきだということである。指示文自体にはどこにも文中で紹介されている考えに触れるとは書かれていないが、まったく触れないのは避けたほうが望ましいだろう。何より、これらの英文はこちらが記述していくうえで大学側が与えてくれたヒントなのだから受け取っておくのがよい。英語での表現で不安なものがあるなら問題文と同じものを使うのも 1 つの手である。間違えてはいけないのは、答えるべきは最後に述べられた 2 つの意見に対する賛否ではなく、絵文字の使用に対する賛否であるということだ。

表現

integral 「不可欠な」

facilitate 「容易にする, 促進する」

verbal 「口頭の」

elaborate 「綿密に仕上げる, 念入りに作る, 詳しく述べる」

(吉田涼佑, 吉田春輝)

2015年度 九州大学 前期 英語

〔5〕

出題範囲	和文英訳
難易度	★★★☆☆
所要時間	20分
傾向と対策	全体的に標準レベルであったが、何点か注意しなければならないポイントがあったので、そこだけは気をつけてもらいたい。

解答例

(1)

We are not good at being criticized by other people. When our opinion is criticized, we get mad, feel as if we ourselves are attacked, and become unable to understand what the other person is saying.

(2)

(例1) Such people should not be proud of insisting on defending their opinion but honestly admitting their mistakes.

(例2) What such people should take pride in is the ability to admit their faults honestly instead of making others accept their opinion.

解説

(1)

注意すべきポイントの1つ目は最初の1文だ。ここには「我々は～弱い」と書いてあるが、この「弱い」をそのまま訳してしまっただけではいけない。ここでの文意は「人は批判されることが苦手である」ということなので not good at ～ や be poor at ～, be bad at ～ と書くとよいだろう。また、「批判に慣れていない」として not used to ～ としてもよい。そのあとに現在分詞が入ることは忘れてはならない。日本語に近い形で英訳するならば vulnerable という単語を用いて We feel vulnerable when criticized とすることもできるが、vulnerable の単語レベルが非常に高いため、頭の片隅に置いておく程度でいいだろう。

次の文は、まず「批判されると」で文章を区切って、ここまでを1つの接続詞節で書いてしまおう。ここでは主語は2パターンあり、1つは上のように批判される自分の意見に主語を置くパターンで、もう1つが批判する側に主語を置くパターンである。その場合は When he/she criticizes our opinion となる。ここで接続詞は when を用いているが、if を用いても問題ない。どちらにしても注意しなければならないのは最初の文の主語を we としている以上、ここでの「自分の意見」も our opinion としなければならないことだ。また、主語を we にする

なら we are criticized our opinion とするのは間違いで, we have our opinion criticized としなければならない。受動態の文章を作るときは, もとの文章を考える癖をつけておけば本来成立しえない受動態の文章になっていないか気づけるだろう。

次の「頭に血がのぼる」という表現だが, 「カッとなる」と捉えて get mad としてもよいし, 「理性を失う」として lose our temper としてもよい。ほかにも「取り乱す」と考えて get upset としてもよいだろう。次の「自分自身が攻撃されたように感じ」の部分だが, ここで注意しなければならないのは, 実際には誰からも攻撃されていないため as if の表現を用いるということだ。そうすると feel as if まではほぼ確定するだろう。また, 「自分自身」というニュアンスを出すために we ourselves としなければならないことも忘れてはならない。それ以外の部分の表現はいくつかあり, 例えば he or she attacks us ourselves や, we ourselves are criticized などがある。

そうして最後に, 「相手が何をいっているのかもよくわからなくなる。」の部分だが, 解答例では「わからなくなる」を「理解できなくなる」と置き換えて become unable to understand としたが, 「理解し損なう」として fail to get at としてもよい。また, 「相手が何をいっているのか」は「相手がいっていること」と置き換えることができるので what the other person is saying や what he/she is saying などとすればよい。どちらにせよ, 日本語が「何を言っている」となっている以上, 現在進行形にしたほうがよいだろう。

(2)

大きく分けて2つの解答方法がある。1つは(例1)のように not A but B の形を用いて書く方法であり, もう1つは(例2)のように最初に「自分の過ちを素直に認めるということに～」のほうを書いておいて, instead of などをつないで「自分がいま～」のほうを書くというものだ。また, 主語も(例1)と(例2)で異なっているが, これはもちろん入れ替えることは可能である。注意してもらいたいのは「プライドをもつ」は have pride とはいわず, take pride in ~ や be proud of ~ で表すということである。また, (例1)で but 以下は省略して書いているが, 本来は but take pride in honestly admitting ~ であるということには気をつけてもらいたい。「そういう人は～してもらいたい」の部分は「そういう人は～すべきだ」と読み替えて Such people should ~ で表している。「無理やり弁護し通す」はそのまま英訳しようとするのが難しいので「相手に無理やり受け入れさせる」として make the other person accept とするか「相手に押しつける」として force our opinion on the other person と表すとよいだろう。また, insist on で「(人が嫌がるのに)～し続ける」であることを知っていれば insist on defending としてもよいだろう。次の「自分の過ちを認める」では, recognize や accept などを使うことができず, admit のみしか使えないことに気をつけてほしい。「過ち」の部分は faults でも mistakes でも問題はない。最後に「素直に」の部分だが, frankly や honestly を使うとよいだろう。

表現

vulnerable 「傷つきやすい, (批判, 非難などを) 受けやすい」

take pride in A 「A にプライドをもつ」

insist on V-ing 「(人が嫌がるのに) V し続ける」

(吉田涼佑, 小林雅典)